

## 訪 問 記 録

レアメタル資源再生技術研究会

会 社 名	中部リサイクル株式会社	訪 問 日	平成 26 年 8 月 8 日(金)
訪 問 者	会長 藤田豊久、理事 河邊憲次、事務局 菱川幸雄		
対 応 者	代表取締役社長 平山清様、 担当部長 松岡庄五様		
会 社 概 要 企 業 デ ー タ	住 所：名古屋市港区昭和町 1 8 番地 TEL：052-611-1511 代 表 者：代表取締役 平山 清 FAX：052-614-0716 資 本 金：1 億 円 従 業 員 数：49 名（平成 26 年 6 月現在） H P： <a href="http://www.chubu-recycle.co.jp/index.html">http://www.chubu-recycle.co.jp/index.html</a>		
事 業 概 要	中部リサイクル(株)は、人間が生活し、産業が生産活動することにより発生する廃棄物を、目的に応じて加工、再生産し、リサイクル資源として供給する「ゼロエミッションファクトリー」をコンセプトとしている。環境装置メーカーの(株)荏原製作所、産業廃棄物収集運搬業の高和興業(株)および建設業の大有建設(株)、3社のリサイクル技術及び旧矢作製鉄(株)の電気炉溶融技術を集約することにより、処理困難な廃棄物を溶融再生し、建設資材または有効金属の鉱石として再利用している。技術と知恵と情熱をもって真のリサイクル社会を迫及しながら、地球環境の保全に取り組んでいる。		
会 長 の 訪 問 後 記	一般廃棄物の都市ゴミ焼却灰を、サブマージドアーク炉の電気炉を利用して溶融し、溶融メタルの銅中に貴金属（金、銀、白金、パラジウムなど）を含有させて回収し、炉内から揮発しやすい Zn, Pb, Cd などの重金属は飛灰中に集めて回収・資源化している。本方法は既存のインフラとしての電気炉があるために行えるすばらしい技術であり、安価な電気が供給できることを期待したい。銅のみに貴金属を吸収させるには鉄を除去する。そのための前処理として、同社では乾式高磁力磁選を行っている。写真は同社工場の敷地からである。同社のご発展を期待し、見学させて頂いたことを深謝する。		
			